2025.8

"薬と飲み合わせに注意した方が良い食品"

抗菌薬を 牛乳で飲もうとしている おじいちゃん

0

若い男性 果物ジュースで飲もうとしている 抗アレルギー薬を

2

アルコールで

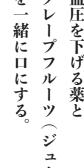
風邪薬を飲む。





グレープフルーツ(ジュース) を一緒に口にする。 血圧を下げる薬と







弱くなるからです。 ような飲み合わせをすると薬の効果が い方がいいでしょう。 このようなお薬の飲み合わせはしな なぜなら、 この



性があります。 で問題(別の症状)を引き起こす可能 の効果を強くさせます。強くなること このようなお薬の飲み合わせは、



\leftarrow 詳しくは次頁へ

薬には、 いつも食べる食品と一緒に摂取すると、お薬の効果に影響が出ることがあります。 その一部を紹介します。

●一緒に服用すると、 薬の効果が弱まる食べ物や飲み物

運搬役の作用を邪魔することがあります。薬の効果が、十分に得られなくなりま 薬です。フルーツに含まれる成分(フラボノイド)が、 作用が少なく安全性の高いものを市販薬に転用したもの)として販売されている ラッグストアでも、スイッチOTC(医師から処方される医療用医薬品のうち、副 グレープフルーツによって薬の効果が弱まります。アレルギーを抑える薬で、ド ●抗アレルギー薬の(フェキソフェナジン:アレグラ)は、リンゴ、オレンジ、 腸から体内へと薬を運ぶ

※この作用は、アレグラのみで、他の抗アレルギー薬では、起こりません

邪魔することで抗血栓作用を示すため、 効果が弱まります。ワルファリンが、血液凝固作用に関わるビタミンKの働きを ●抗血栓薬(ワルファリン:ワーファリン)は、青汁、納豆、クロレラによって 過剰なビタミンKがあると、 効果が弱ま

※この作用は、ワルファリンのみで、他の抗血栓症薬では起こりません。

キノロン系〈レボフロキサシン:クラビット〉など)、骨粗鬆症薬(ビスホスホネ ネシウムによって効果が弱まります。 ●抗菌薬(テトラサイクリン系〈ミノサイクリン:ミノマイシン〉など、ニュー ト系〈アレンドロン:フォサマック、ボナロン〉など)は、 カルシウム、

> にくっついてしまい、 ネシウム、アルミニウム、鉄は、大切な栄養素ですが、同時に摂取すると、薬 牛乳やミネラルウォーターなどの、ミネラルの一部であるカルシウム、マグ 互いに吸収されにくくなり、効果が弱まることがありま

題ありません。 牛乳を飲みたい場合は、 基本的に薬を飲む時間と2時間以上時間を空ければ問

ます。 物繊維の多い食事を摂取する際には、薬の服用時間を調整することが推奨され 害することがあります。食物繊維と結合し、吸収が低下することがあるため食 ン:サワシリン)、コレステロール低下薬(コレスチラミン:クエストラン) ることがあり、特に不溶性食物繊維は、薬に絡みついて、腸内で薬の吸収を阻 ●心臓の動きを良くする薬(ジゴキシン:ジゴシン)、抗菌薬(アモキシシリ 食物繊維によって効果が弱まります。 食物繊維は、薬の吸収に影響を与え





❷一緒に服用すると、薬の効果が強まり問題を

症治療薬(アトルバスタチン:リピトール等)は、グレープフルーツ(ジュマゼピン:テグレトール)、睡眠薬(トリアゾラム:ハルシオン)、高脂血●降圧薬(アムロジピン:アムロジン等のCa拮抗剤)、てんかん薬(カルパ

ぎると、血圧が低くなり過ぎ、頭痛やめまいを引き起こします。働きを邪魔することにより、効果を強めてしまいます。薬の効果が上がり過グレープフルーツの、フラノクマリン類という成分が、薬を代謝する酵素の

ース)を飲むと、

効果が強まります。

●市販の風邪薬や鼻炎薬などは、アルコールによって、効果が強まりすぎる

こしてしまう可能性もあります。中枢神経抑制作用と合わせて、効果が強まり、場合によっては意識障害を起風邪薬や鼻炎薬の中には中枢神経抑制作用があるものがあり、アルコールの

ル摂取によりリスクが高くなります。 世が悪く、アルコールと一緒に飲むと、肝機能に障害が出る可能性があるこせが悪く、アルコールと一緒に飲むと、肝機能に障害が出る可能性があるこして、まれに乳酸アシドーシスを起こすことがありますが、過度のアルコーして、まれに乳酸アシドーシスを起こすことがありますが、過度のアルコーして、まれに乳酸アシドーシスを起こすことがありますが、過度のアルコールと飲み合われます。



性に傾いた状態です。乳酸アシドーシスとは、血液中の乳酸が異常に増えて、血液がいちじるしく酸

しいなどがみられます。 症状としては、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、体がだるい、筋肉痛、呼吸が苦

●三環系抗うつ薬(アナフラニール、トリプタノール等)、一部の抗精神病薬 (クロザピン:クロザリル)、経口避妊薬(避妊用ピル:アンジュ等)、免疫 (クロザピン:クロザリル)、経口避妊薬(避妊用ピル:アンジュ等)、免疫 ドール)、心臓の動きを良くする薬(ジゴキシン:ジゴシン)、心不全治療薬 (イバブラジン:コララン)、一部のHIV感染症治療薬(ネビラピン:ビラミ スタチン系薬(シンバスタチン:リポバス)は、セントジョーンズワートと服 用すると、効果を弱めます。

ティーとして、日常で入手可能です。ら中等度の抑うつの症状緩和を目的として摂取されます。健康食品、ハーブ※セントジョーンズワート(セイヨウオトギリソウ)は多くの場合、軽度か

トと服用すると、効果を強めることがあります。
: パキシル、セルトラリン:ジェイゾロフトなど)は、セントジョーンズワージに、一部の抗うつ薬、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(パロキセチン

一部の食品と一緒に摂取すると、症状が出ることもあります。の最後に、お薬の効果には、影響はありませんが、

●抗結核薬(イソニアジド:イスコチン)、抗パーキンソン病薬(〈セレギーが結核薬(イソニアジド:イスコチン)、抗パーキンソン病薬(〈セレギ

全身倦怠感など)を引き起こす可能性があります。ミン中毒症状(頭痛、顔面紅潮、発疹、蕁麻疹、悪心・嘔吐、発汗、動悸、また、イソニアジドを服用中に、新鮮でないマグロを摂取すると、ヒスタ

類は、注意が必要です。 サバ、サンマなど、ヒスタミンを多く含む魚介でクロ以外にも、カジキ、サバ、サンマなど、ヒスタミンを多く含む魚介

に伝えることが重要です。あります。 そのため、医師・歯科医師・薬剤師に、服用しているお薬を正確あります。 そのため、医師・歯科医師・薬剤師に、服用しているお薬を正確お薬の中には様々な理由から、他のお薬との飲み合わせが悪くなる場合が

個々の治療内容や患者の状態を確認しながら、使用する場合もあります。ただし、治療上のメリットが大きい場合など、医師・歯科医師・薬剤師が



治療を受ける際に、ご参考にしてください~ピロリ菌除去療法を受ける際に、よく受ける質問です。

Q、除菌中にお酒を飲んでも良いですか?

弱くなり、除菌が成功しにくくなるという報告があるからです。いる間は、禁酒をおすすめします。 理由は、飲酒によって薬の作用がA、ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)除菌のための治療薬を服用して

Q、除菌中にタバコを吸っても良いですか?

A、除菌療法中の喫煙の影響はないか、あってもわずかです。除菌療法中

Q、除菌中にコーヒーを飲んでも良いですか?

目に負担のかかりにくい時間帯に飲むようにしましょう。 取は胃への負担となり、治療中の症状が悪化する可能性があります。 取は胃への負担となり、治療中の症状が悪化する可能性があります。

文責 青山病院 薬剤師 藤野